



文化祭 全校合唱 2018. 10. 21



運動会 長縄跳び 2018. 9. 1

平成30年度 学校評価のまとめ

気仙沼市立鹿折中学校 平成31年2月

中学生はもうじき大人になる人たちです。ですから、子ども扱いせず、自覚と責任を持たせ、自立した人間になるように接することが大切です。学校は、子どもが他者とのかかわりから学び育つ場です。もちろん、集団生活では嫌なことも経験しますが、大人と同じように、これを前向きに捉えれば更なる成長への好機となります。学校や社会とはそういうところです。

そんな学校では、生徒が主役です。教師や保護者は脇役として、良き助言者、支援者でありたいものです。学校の当事者は、一に生徒、二に教師、三に保護者ではないでしょうか。良い学校とは、この三者が協力して責任を果たし、互いに良い取組をする学校です。本校が更に進歩するヒントを求めて、今回の学校評価をしてきました。保護者の皆様には、アンケートへのご協力、ありがとうございました。貴重な声に耳を傾けて、学校づくりに生かしてまいります。

以下に今回の評価のまとめをお知らせいたします。そして、今後も学校へのご協力をお願いするとともに、各ご家庭でのよい実践をお願いするものです。

.....

第1部 「鹿折中学校の現状を把握する」

A 生徒の評価から

(1) 生徒が「高く評価」をしている内容

生徒がA「当てはまる」、または、B「だいたい当てはまる」と回答し、A+Bの合計が全校生徒の90%を越えている質問事項

順位	A+B%	質問事項
1	95.5	鹿折中の先生は、健康や食育、安全や防災等について指導している。
1	95.5	私の家族は、物事の善悪の判断を教え、規律や礼儀を守って生活するように私を指導している
3	94.6	私の家族は、私のことを大事に思い、愛情を向けたり、励ましたりしてくれている。
4	93.8	私は、家族との対話があり、家族の一員としての自覚をもって生活している。
5	92.8	鹿折中の先生は、学級や生徒会の活動をきちんと指導をしている。
6	91.9	鹿折中の先生は、部活動を顧問として適切に指導をしている。
7	91.0	私は、学校行事（運動会・文化祭など）に積極的に取り組んでいる。

本校の生徒は、先生が健康・食育・安全・防災について指導していると感じ、学級や生徒会に対する指導がきちんとしており、部活動での指導も適切だと思っているようです。

また生徒は、家族が、善悪の判断や規律・礼儀を指導してくれており、自分を大事に思い、愛情をもって励ましてくれていると感じています。そして自分は、家族との対話があり、家族の一員として自覚をもって生活していると捉えているようです。

このような先生や家族への信頼感の下、生徒は学校行事に積極的に取り組んだのではないのでしょうか。そう考えると、生徒への親や先生からの愛情や適切な指導は、とても大切なものだ分かります。

(2) 生徒が「低く評価」をしている内容

生徒がA「当てはまる」、または、B「だいたい当てはまる」と回答し、A+Bの合計が全校生徒の80%を下回っている質問事項

順位	A+B%	質問事項
1	74.8	私は、どの人にも優しく公平に接している。
2	75.7	私は、将来へ夢や希望をもっている。
3	77.5	私は、「未来を見すえ、心豊かに、力強く、学び続ける生徒」(教育目標)に近づいている。
4	78.4	私は、よい「生活習慣」を身につけている。(食事、睡眠、あいさつ、整理整頓など)
5	79.3	私は、「家庭学習」を適切に行っている。(塾等は含まない)
5	79.3	鹿折中の先生の教科指導は、楽しく感じる。
5	79.3	私たち鹿折中生は、進んで学習し、粘り強く取り組むことのできる生徒である。

上では、生徒は先生や家族を高く評価していましたが、自分自身のことは低く評価しているようです。内容を見ると、自分自身が人に優しく公平に接していない、将来への夢や希望が曖昧で、力強く学び続ける生徒には近づいていないと感じているのかもしれませんが。また、自分の生活習慣に問題があると感じ、家庭学習の実践には満足感がないようです。

鹿折中の生徒全体についても、進んで学習することや粘り強く取り組むことへの評価は高くなく、そのことの反映かどうか、先生の教科指導に楽しさを感じにくいようです。これらから、生徒の思いやりや公平さ、希望、生活習慣、家庭学習などに問題があることが予想されます。先生の指導の工夫も必要だと思われます。

B 保護者の評価から

(1) 保護者が「高く評価」をしている内容

保護者がA「当てはまる」、B「だいたい当てはまる」と回答し、A+Bの合計が全保護者の90%を越えている質問事項

順位	A+B%	質問事項
1	97.2	私の家庭は、子どもを大事に思い、家族の愛情や励ましを伝えて子育てをしている。
2	93.5	学校は、「健康や食育」、「安全や防災」等について適切に指導をしている
3	92.7	私の家庭は、子どもに物事の判断を教え、規律や礼儀を守って生活するよう指導している。
4	91.6	鹿折中生の印象は、規律や礼儀を守り、互いに思いやりある生活をしている生徒である。
5	90.7	学校は、お便りやメール、ホームページ等で様子を伝え、連絡事項等の周知を図っている。
6	90.6	お子様は、家族との対話があり、家族の一員としての自覚をもって生活をしている。

保護者が高く評価をしている内容は、先の生徒の意見と一致する部分が多く見られました。家族が子どもに愛情や励ましを与え、物事の判断を教え、規律や礼儀を指導していること、子どもとの対話があり、子どもに家族の一員としての自覚が見られることなどです。この部分では生徒と保護者は一致しています。そして、保護者は鹿折中生全体についても、規律や礼儀を守り、思いやりがある生活をしていると捉えています。(生徒の自己評価は厳しいのですが…)

学校については、生徒と同様に健康・食育・安全・防災についての指導を評価し、お便りやメール、ホームページ等で情報提供をしていると感じているようです。生徒との対話だけでなく、学校情報を基にした学校と家庭の対話(やりとり)はやり大事だと分かります。

(2) 保護者が「低く評価」をしている内容

保護者がA「当てはまる」、B「だいたい当てはまる」と回答し、A+Bの合計が全保護者の80%を下回っている質問事項

順位	A+B%	質問事項
1	59.8	お子様は、「家庭学習」を適切に行っている。(塾等は含まない)
2	65.7	お子様は、よい「生活習慣」を身につけている。(食事、睡眠、あいさつ、整理整頓など)

3	66.0	お子様は、スマホやゲーム機などをはじめをもって正しく利用している。(メディア利用)
4	72.0	学校は、生徒の気持ちや考えを理解し、保護者と連携して「一人一人を大切に」している。
5	76.6	お子様は、「未来を見すえ、心豊かに、力強く、学び続ける生徒」(教育目標)になっている。
5	76.6	鹿折中生の印象は、進んで学習し、粘り強く取り組むことのできる生徒である。
7	77.6	学校は、生徒に対して「よい学習指導」を行っている。
8	78.3	学校は、生徒の「将来」の希望や進学・就職について適切で親身な指導をしている。
9	78.5	学校は、「部活動」をガイドラインや申し合せ事項等を踏まえて適切に行っている。

保護者が低く評価をしている内容も、生徒と一致する部分があります。一つは「家庭学習」が十分でないという見方です。また、「生活習慣」に問題があるという見方です。保護者は更に「メディア利用」の問題も感じています。確かにこれは大きな懸念です。これらから、保護者は子どもが進んで学習し、粘り強く取り組んでいるとは感じず、教育目標のような「未来を見据え、心豊かに、力強く、学び続ける生徒」には至っていないと見ているかもしれません。

また保護者は、そのような子どもの現実を踏まえると、学校に対しては、生徒理解の充実や、保護者との連携、よい学習指導、将来への指導、適切な部活動について、しっかり指導をしてほしいという願いがあるようです。保護者との協力の下、学校の実践を充実させて、ぜひこの問題を解決しなければならないと感じます。

C 教師の評価から (平成30年度学校教育目標、学校経営の方針、重点努力事項の達成状況)

では、教師の評価を紹介します。教師は1学期末と2学期末に、今年度、学校が掲げている目標や方針、重点などについて自己評価し、変化を下のように整理しています。

数値は評価点の平均、3段階で評価、変化なし…「0」、ややよい方向にある…「1」、よい方向にある…「2」「◎」…とても良い方向にある、「○」…良い方向にある、「—」…どちらともいえない、「▼」…悪い方向にある

(1) 学校教育目標

番号	評価項目	1学期	2学期	評価
①	教育目標 自ら未来を見据え、心豊かに、力強く、学び続ける生徒の育成	1.25	1.06	▼
②ア	目指す生徒像1 学ぶ意欲に満ちた生徒(知)	0.93	0.93	—
②イ	目指す生徒像2 認め合い、高め合う生徒(徳)	0.93	1.18	○
②ウ	目指す生徒像3 目標をもち、心身を鍛える生徒(体)	1.12	0.93	—
③	スローガン 「未来を夢見る人間」になる	1.12	1.06	—

教師は、教育目標に関わる目標では、あまりよい成果を得ることができなかつたと感じています。目指す生徒像2の「認めあい、高め合う生徒」は、これまでの各行事等を通じて徐々にその傾向が強まっているように感じられますが、教育目標やスローガン「未来を夢見る人間」のような生徒像には至っていないと捉えています。来年度への更なる工夫と実践が必要です。

(2) 学校経営方針

番号	評価項目	1学期	2学期	評価
①	生徒ひとりひとりに存在感をもたせる教育活動を行う	1.12	1.31	○
②	地域の中の学校を意識し、地域の一住民として地域に貢献する	1.18	1.37	○
③	全体としての学力の向上を目指し、生徒・教員ともに努力する	1.06	1.25	○
④	総合的な学習『さくら学習』を、より主体的に学ぶ場にする	1.31	1.50	○
⑤	生徒の主体的な活動を積極的に支援する。	1.31	1.25	—
⑥	大震災の体験を踏まえ、積極的に防災教育をし、充実に努める	1.18	1.37	○

学校経営方針に関わる内容については、教師は概ねよい手応えを得ています。特に、総合的な学習をより主体的に学ぶ場にすることができたという捉えでした。そのことで、積極的な防災教育が展開できたり、地域の中の学校を意識して、地域に貢献することができたりしているように感じます。

今後は、更に生徒の主体的な活動を積極的に支援し、生徒一人一人に存在感を持たせるとともに、全体としての学力向上を目指して取り組んでいきたいものです。

(3) 重点努力事項

番号	評価項目	1学期	2学期	評価
①	心の教育の充実を図る	1.31	1.31	—
②	学力向上対策を進める	1.18	1.00	▼
③	基本的生活習慣の育成を図る	1.12	1.00	▼
④	地域の中の学校（開かれた学校）となる	0.75	1.50	○
⑤	特色ある学校づくりを進める	1.00	1.31	○

学校の重点努力事項の柱は5つありました。5つの柱にはそれぞれ細かい努力事項がありますが、ここでは割愛して考えます。④「地域の中の学校」と、⑤「特色ある学校づくり」での成果については、上に述べたことと一致しています。学校が重点努力事項として取り組んだ結果、よい結果が出ていると捉えます。

一方、成果を感じなかったのは、②「学力向上」と③「基本的生活習慣」でした。このことも、これまでの生徒や保護者の評価と一致します。教師の側でもこの2つには問題意識があります。今後、この面での成果を上げることが大切です。次年度もこれが本校の課題となるでしょう。

さらに、「心の教育」の充実については、常に注意して指導しているのですが、いじめや人間関係のトラブル、インターネットに関わる問題等への懸念が評価結果に表れていると思います。現状では、安心できる手応えを得るまでには至っていないと感じます。この「心の教育」はもちろん、先の「学力向上」や「基本的生活習慣」の指導は、学校だけでは効果は上がりません。ぜひ、家庭や地域社会との共通理解と共通行動で生徒を輝かせたいものです。

D 評価内容の整理

これまでの三者の評価内容を整理すると下の表のようになります。

	よ さ	課 題
生 徒	(保護者から) ・ 規律や礼儀を守り、思いやりがある生活 ・ 家族の一員として自覚がある生活 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> ※1 生徒のよさを見落としていないか？ </div>	(生徒から) ・ 人に優しく、公平に接していない ・ 将来への夢や希望が曖昧である ・ 力強く学び続ける生徒ではない ・ 生活習慣に問題がある ・ 家庭学習の実践に満足感がない ・ 進んで学習せず、粘り強くない (保護者から) ・ 家庭学習が十分でない ・ 生活習慣に問題がある ・ メディア利用に問題がある ・ 粘り強く取り組んでいない ・ 教育目標のような生徒には至らない (教師から) ・ 教育目標やスローガンには至らない
保 護 者	(生徒から) ・ 善悪の判断や規律・礼儀を指導している ・ 愛情をもって励ましている (保護者から) ・ 愛情や励ましを与えている ・ 物事の判断や規律・礼儀を指導している ・ 子どもとの対話がある	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> ※2 保護者の課題を見落としていないか？ </div>
教 師	(生徒から) ・ 健康・食育・安全・防災を指導している ・ 学級や生徒会に対する指導をしている	(生徒から) ・ 教科指導に楽しさを感じにくい (保護者から)

<ul style="list-style-type: none"> ・部活動での指導が適切である (保護者から) ・健康・食育・安全・防災の指導を評価 ・お便りやメール，HP等での情報提供 (教師から) ・総合的な学習を主体的に学ぶ場にした ・積極的に防災教育を展開した ・地域の中の学校として地域に貢献した ・特色ある学校づくりに迫った 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解の充実や保護者との連携が必要 ・よい学習指導が必要 ・将来への指導，適切な部活動指導が必要 (教師から) ・生徒の主体的な活動を積極的に支援する ・一人一人に存在感を持たせる ・全体としての学力向上を図る ・基本的生活習慣と心の教育の充実を図る ・家庭や地域社会と共通理解し，行動する
---	--

E 生徒の意識調査（1学期，全校生徒対象，抜粋）

「A」…当てはまる， 「B」…だいたい当てはまる， 「市内目標」…市第2次総合計画での目標値

番号	質問項目	鹿折中	鹿折中	市内目標	市内目標
		A%	A+B%	2020	との比較
①	毎日，家庭学習に取り組んでいますか。(塾を含む)	66.7	86.0		
②	学校での毎日の授業に集中して取り組んでいますか。	35.1	78.9		
③	早寝，早起きを意識して生活していますか。	31.6	82.5		
④	自分から進んであいさつをしていますか。	34.2	85.1		
⑤	難しいことでも，失敗を恐れずに挑戦していますか。	15.8	69.3	85.0	-15.7
⑥	自分にはよいところがあると思いますか。	26.3	68.4	85.0	-16.6
⑦	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	10.5	48.2	60.0	-11.8
⑧	将来の夢や希望をもっていますか。	53.5	82.5		
⑨	学校に来るのは楽しいと思いますか。	53.5	93.9		
⑩	地域や社会をよくするために何をすべきか考えますか。	13.1	58.8	75.0	-16.2

さて，本校生徒の現状把握は生活意識の面からも必要です。上の表は，1学期に全校生徒を対象にした調査から10項目を抜粋したものです。これを見ると，生徒が「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」ではない様子，「難しいことへの挑戦」には尻込みをする様子，そして「自分にはよいところがある」とは思えないでいる様子が伺われます。つまり，生徒の「自己肯定感」は低く，自分に「自信」がもてない状態にあると考えます。また，そのためか，「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」ことも低調で，自己肯定感の問題が社会参加への意欲にも影響しているかもしれません。

やはり，毎日の学習にしっかりと取り組んで学力をつけることを大事にし，そして，生活習慣やあいさつを大事にすることで心を育て，生徒に「将来への夢や希望」をしっかりと持たせることが，「自信」がもてないでいる鹿中生を今後飛躍させることにつながると考えます。積極的に褒めたり，褒める種を撒いたりする教師や親のかかわり方を大事にしましょう。

第2部 「鹿折中学校の来年を構想する」

A 学校教育目標

学校教育目標「自ら未来を見据え，心豊かに，力強く，学び続ける生徒の育成」は十分には達成できていないので，来年度も継続して目標に掲げます。本校の生徒の約40%は災害によって転居を経験しています。ですから，子どもたちに未来を明るいものと捉えさせることはとても大切です。また，より良い社会づくりへの参加意欲を高めることも大事だと思います。そのためにも，心の豊かさや学び続ける力は必要です。そのような考えから，生徒向け学校教育目標スローガンである「未来を夢見る人間」になることを一層求めて指導したいと思います。

B 学校経営方針

昨年度の方針を踏まえ、また、学校評価の結果を踏まえて、経営方針を次のように定めます。

- (1) 生徒をよく理解して、一人一人に愛情を向けた教育活動を推進する。
- (2) 生徒の活動を大切に、生徒に考えさせて、主体的な学校生活をさせる。
- (3) 一人一人の夢や希望を育み、未来への期待と意欲を高めるように指導する。
- (4) 教科等の指導の充実を図り、個々の学力を確実に向上させる。
- (5) 望ましい生活習慣を育み、他者への優しさのある、爽やかな生活をさせる。
- (6) 主体的に学ぶ総合的な学習を工夫し、3年間を見通した効果的な指導を行う。
- (7) SDGsを活用したESD、言語活動の充実、褒めること（叱ること）を大切にする。
- (8) 生徒の安全・安心な学校生活と、教職員の適切な働き方を工夫する。
- (9) 保護者と協働し、地域と連携し、家庭や地域と共に歩む学校づくりをする。

C 来年度の教育活動において工夫すべき点

- (1) 学力を確実に向上させる工夫
- (2) 生活習慣をしっかりとさせる工夫
- (3) 「心の教育」を豊かにする工夫
- (4) 総合的な学習をより効果的にする工夫
- (5) 生徒を励ます、生徒に考えさせる環境づくりの工夫
- (6) 生徒の活動で主体的な生活と仲間づくりを支援する工夫
- (7) 生徒の安心・安全な生活と健康づくりを実現する工夫
- (8) 教職員の適切な働き方を実現する工夫



生徒会 あいさつ運動 2018. 9. 19

D 来年度の評価指標（生徒の意識面）

「A」…当てはまる、「B」…だいたい当てはまる、「来年度」…平成31年度末の目標値

番号	質問項目	今年度	今年度	来年度	来年度
		A %	A + B %	A %	A + B %
①	毎日、家庭学習に取り組んでいますか。（塾を含む）	66.7	86.0	70.0	90.0
②	学校での毎日の授業に集中して取り組んでいますか。	35.1	78.9	40.0	85.0
③	早寝、早起きを意識して生活していますか。	31.6	82.5	40.0	90.0
④	自分から進んであいさつをしていますか。	34.2	85.1	45.0	90.0
⑤	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	15.8	69.3	30.0	80.0
⑥	自分にはよいところがあると思いますか。	26.3	68.4	40.0	80.0
⑦	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	10.5	48.2	20.0	60.0
⑧	将来の夢や希望をもっていますか。	53.5	82.5	65.0	90.0
⑨	学校に来るのは楽しいと思いますか。	53.5	93.9	65.0	95.0
⑩	地域や社会をよくするために何をすべきか考えますか。	13.1	58.8	30.0	70.0
⑪	自分の未来に期待をし、その実現に意欲をもっていますか。	/	/	30.0	60.0
⑫	社会の未来に期待をし、その実現に意欲をもっていますか。			30.0	60.0
⑬	生徒の活動が充実し、主体的な学校生活になっていますか。			35.0	70.0
⑭	自分の学力は確実に向上してきていると思いますか。			35.0	70.0
⑮	自分の生活習慣はよく、他者には優しくできていますか。			40.0	80.0

※上記の目標や方針、工夫すべき点、評価指標等を踏まえ、また、実態や反省を踏まえて、新たな教育計画を作成します。最後までお読みいただきありがとうございました。ご家庭でもお子様への接し方などについて、ご工夫いただければ幸いです。

（問合せ先：教頭、電話22-6764）

